

■ I 理論配合分析サービス (サンプル)

父●●● 母●●●/●●●

評価ランク **A**

距離適性 芝 9～12 F ダ 8～10 F

«チェック項目»

①主導明確性	<input type="checkbox"/>	■芝適性	○
②位置・配置	<input type="checkbox"/>	■ダート適性	<input type="checkbox"/>
③血の結合度	<input type="checkbox"/>	■日本適性	△
④血の集合力	<input type="checkbox"/>	■成長力	○
⑤弱点・欠陥	○		
⑥影響度バランス	○		
⑦種類・数	△ 60		
⑧質・再現度	○		
⑨流れ・統一性	<input type="checkbox"/>		
⑩スピード要素	<input type="checkbox"/>		
⑪スタミナ要素	○		

«プロフィール»

Northern Dancer 5・5・7×5 (中間断絶) を呼び水として、Almahmoud 7・7・9×5・7の系列ぐるみにより全体をリード。この配合の見どころは、Princequillo-Prince Roseをはじめ、かくし味的に Djebel-Tourbillon、Mieuxce などの欧州系スタミナがアシストされたこと。

ただし、同父産駒としては欧州色の濃い形態で、欧米系の連動にもスムーズさを欠くため、開花にはかなり時間を要するものと推測される。前面で血をまとめる要素が不足することから、これまでの傾向からすると、上位クラスでのスピード対応という点で実績に欠けることは否めない。

とはいうものの、Nasrullahをはじめ、Rough Shod-Gold Bridge、Tudor Minstrel など、内在するスピードの引出しに成功すれば、準オープン～オープン下位レベルで通用しても不思議のない内容は確保されている。本質は中距離だが、日本の馬場ならば 12 F の克服も可能で、開花の安定やタフな走りは期待できる。瞬発力勝負よりも平均ペース向き。